

共有メモリ上の領域と数値

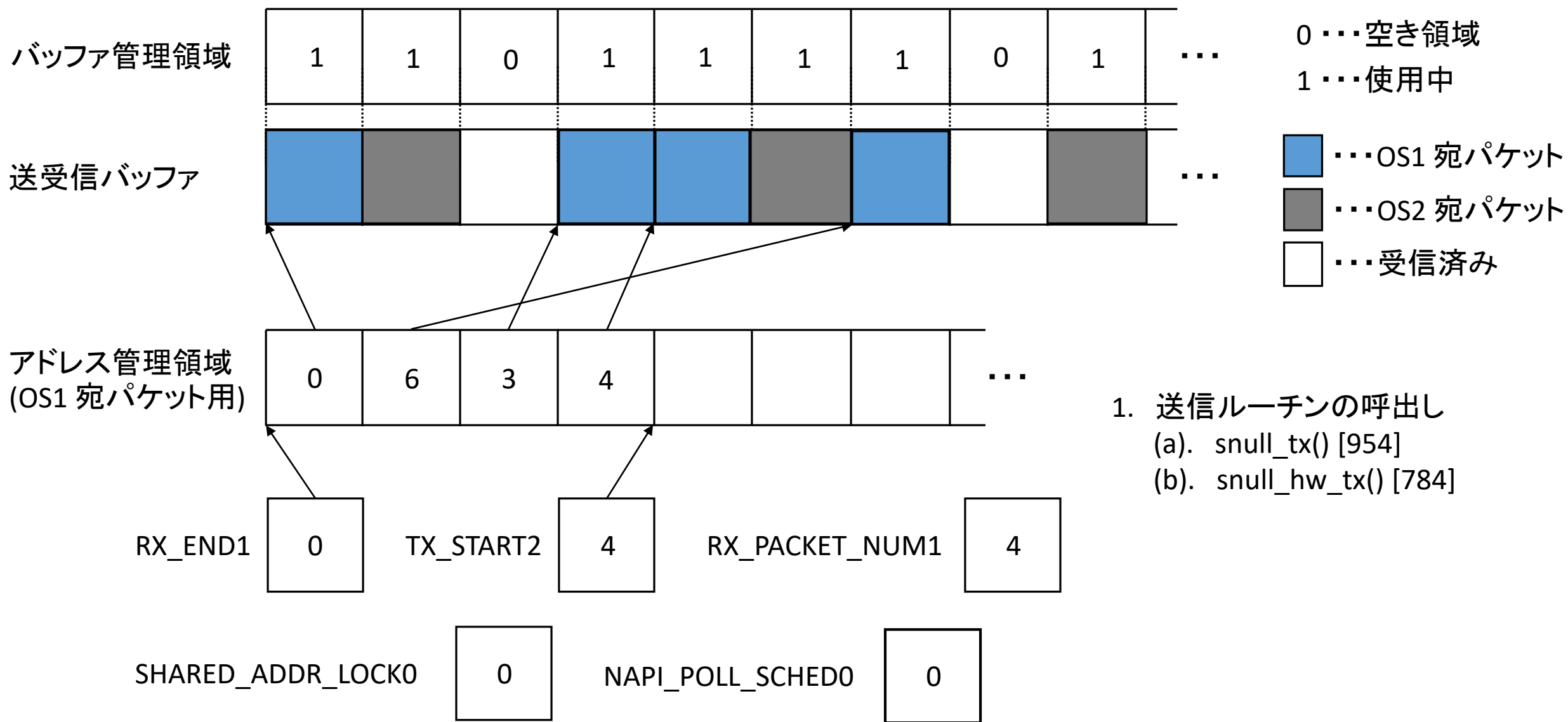
領域

バッファ管理領域:	送受信バッファの使用状況を管理する領域
送受信バッファ:	パケットを格納する領域
アドレス管理領域:	対応する OS 宛のパケットを指示するポインタを保存する領域

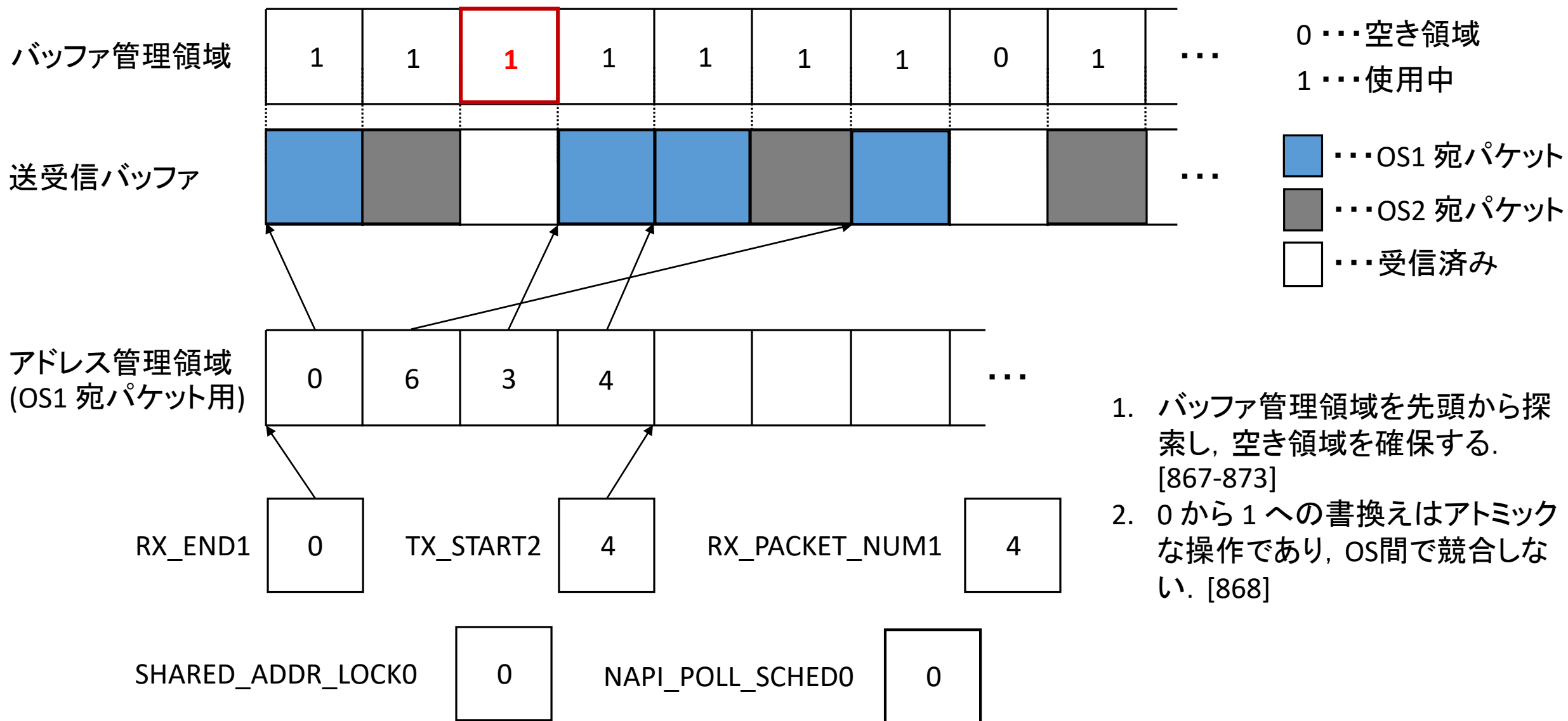
数値

RX_END1:	次に OS1 の受信するパケットのアドレスへのポインタ
TX_START2:	次に OS1 へ送信されるパケットのアドレスを書き込む場所へのポインタ
RX_PACKET_NUM1:	OS1 宛ての未受信パケット数を示す値
SHARED_ADDR_LOCK0:	ロック変数
NAPI_POLL_SCHEDULE0:	OS1 における受信ルーチンのスケジューリング状況を示す値

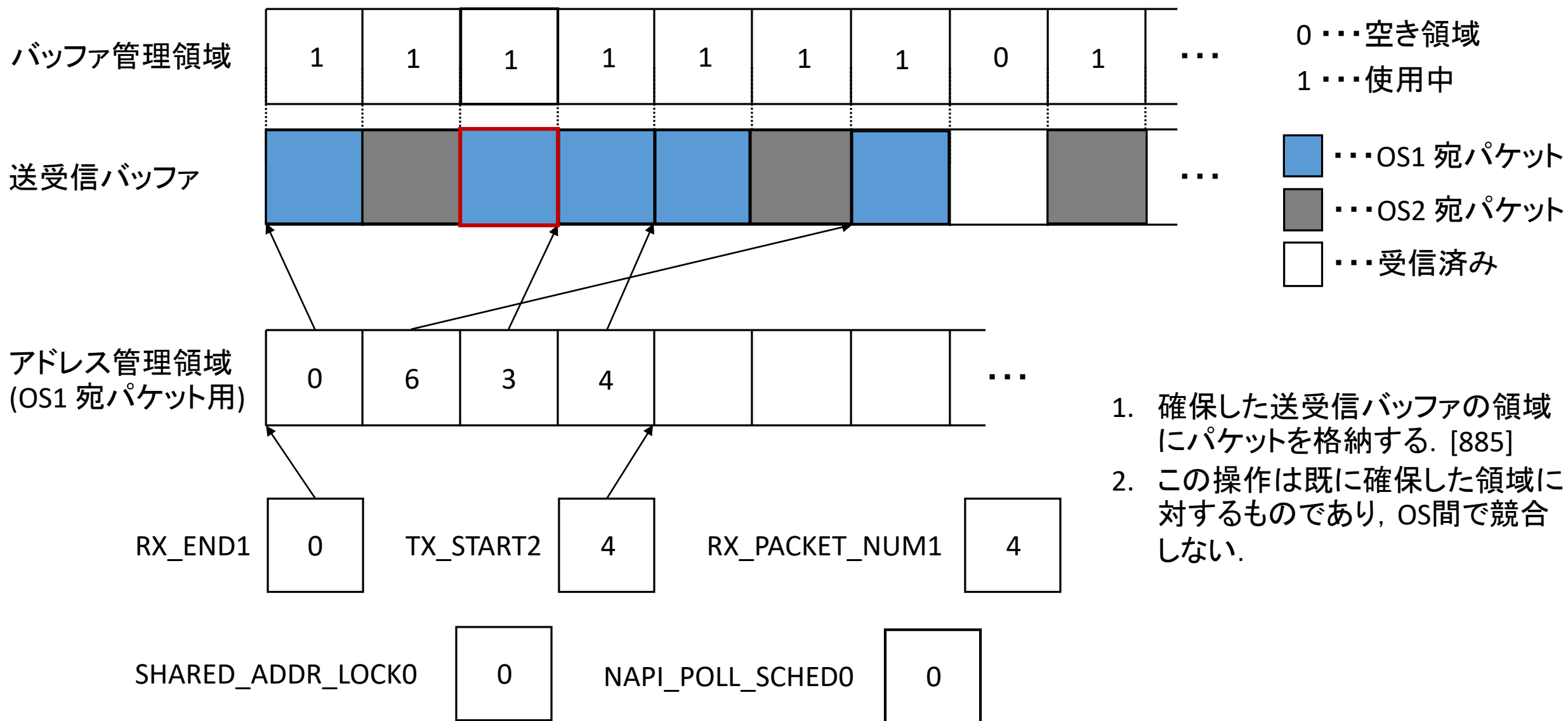
OS2からOS1宛のパケットを共有メモリに配置する様子(1/9)



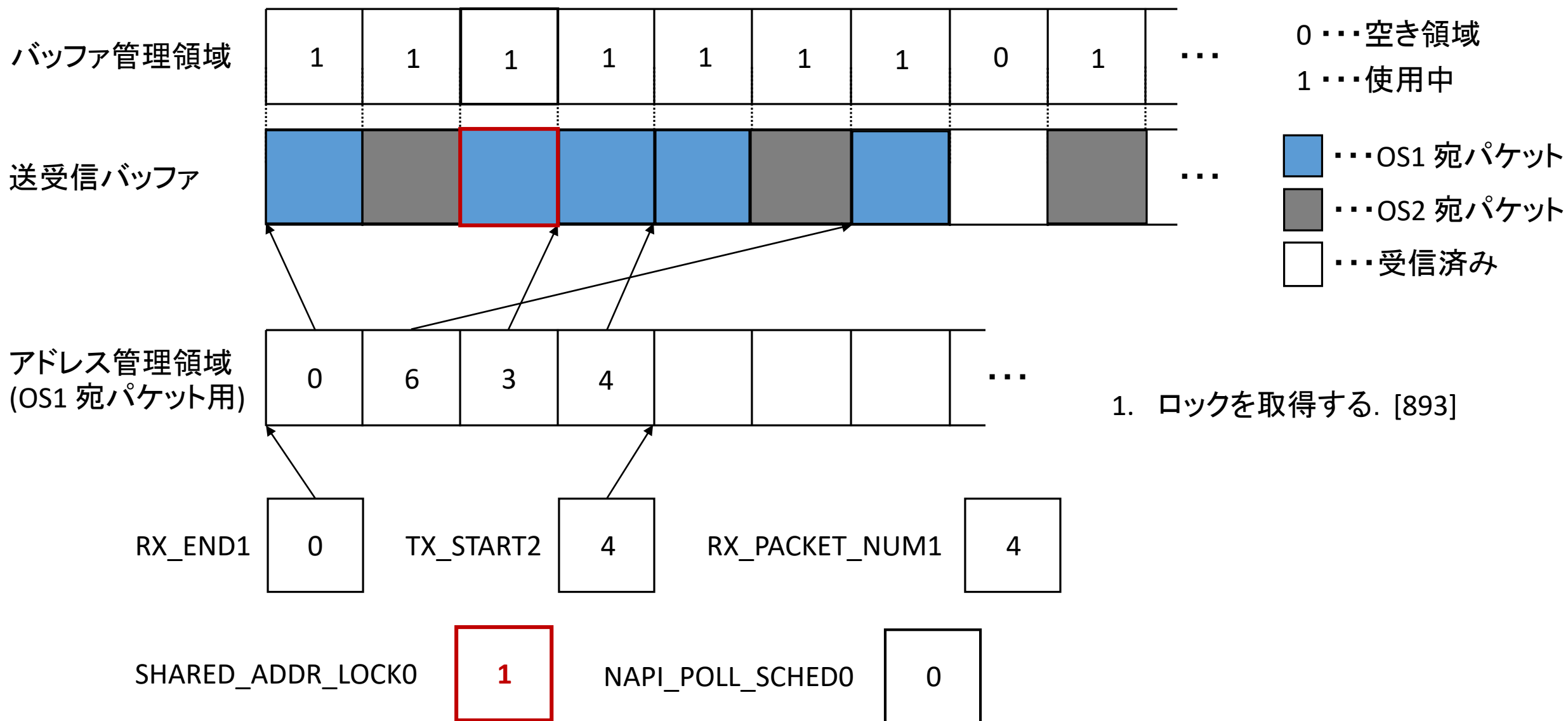
OS2からOS1宛のパケットを共有メモリに配置する様子(2/9)



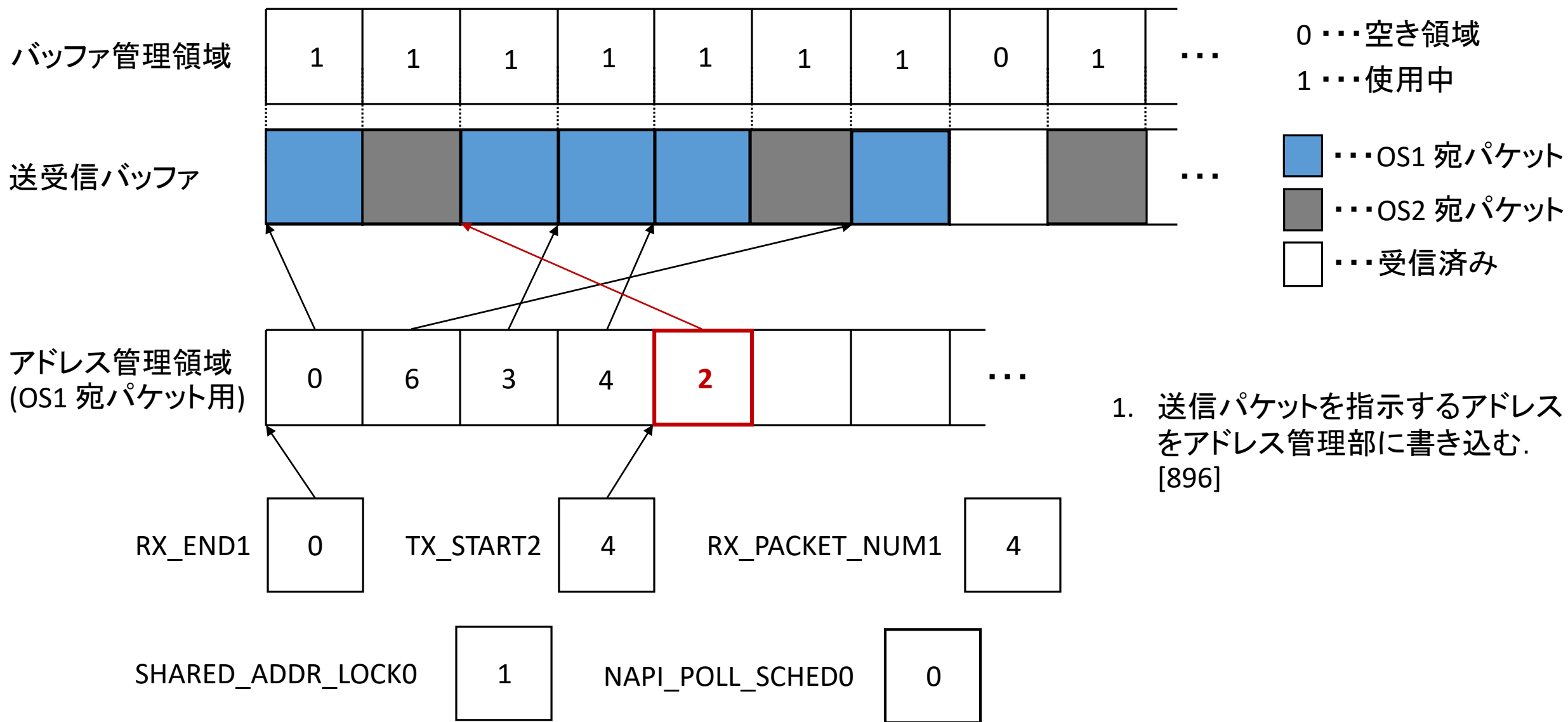
OS2からOS1宛のパケットを共有メモリに配置する様子(3/9)



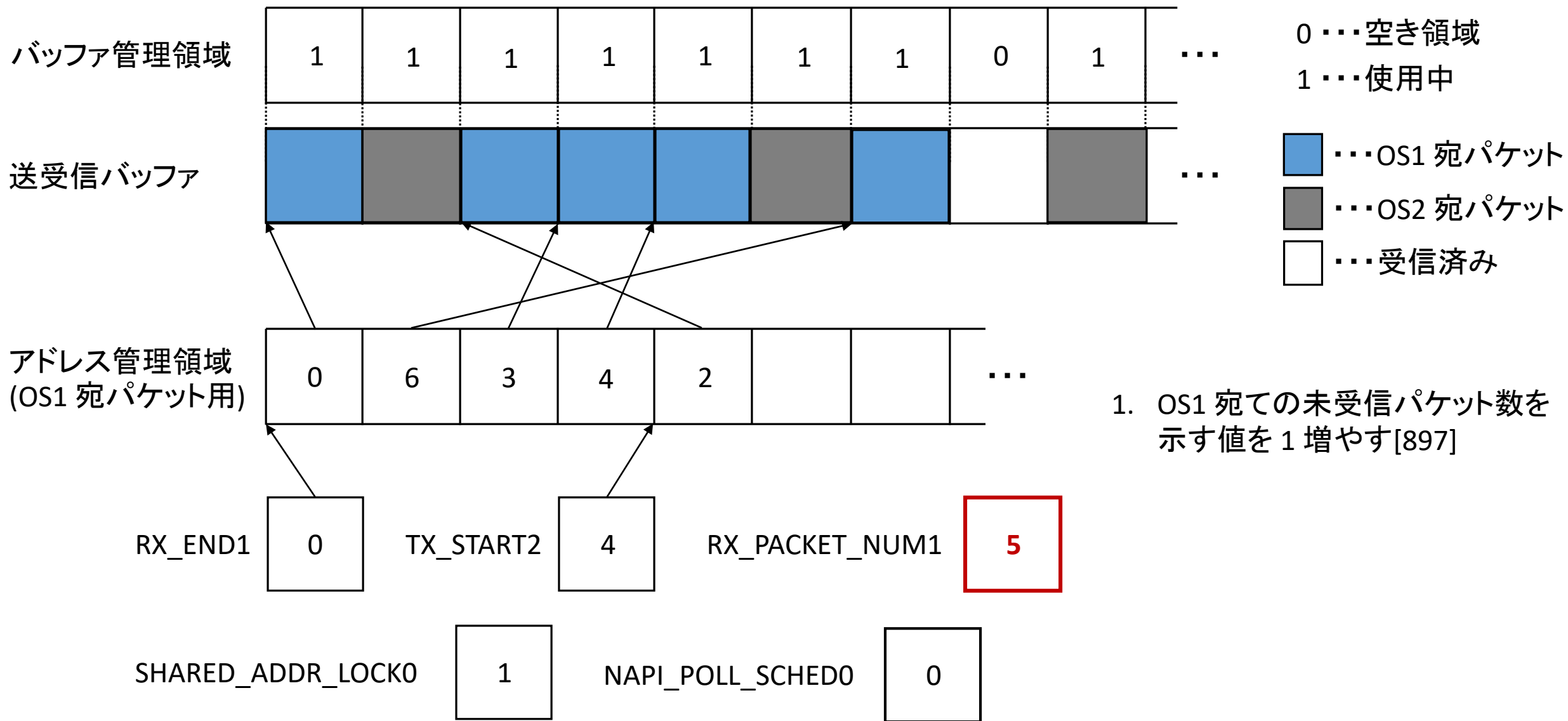
OS2からOS1宛のパケットを共有メモリに配置する様子(4/9)



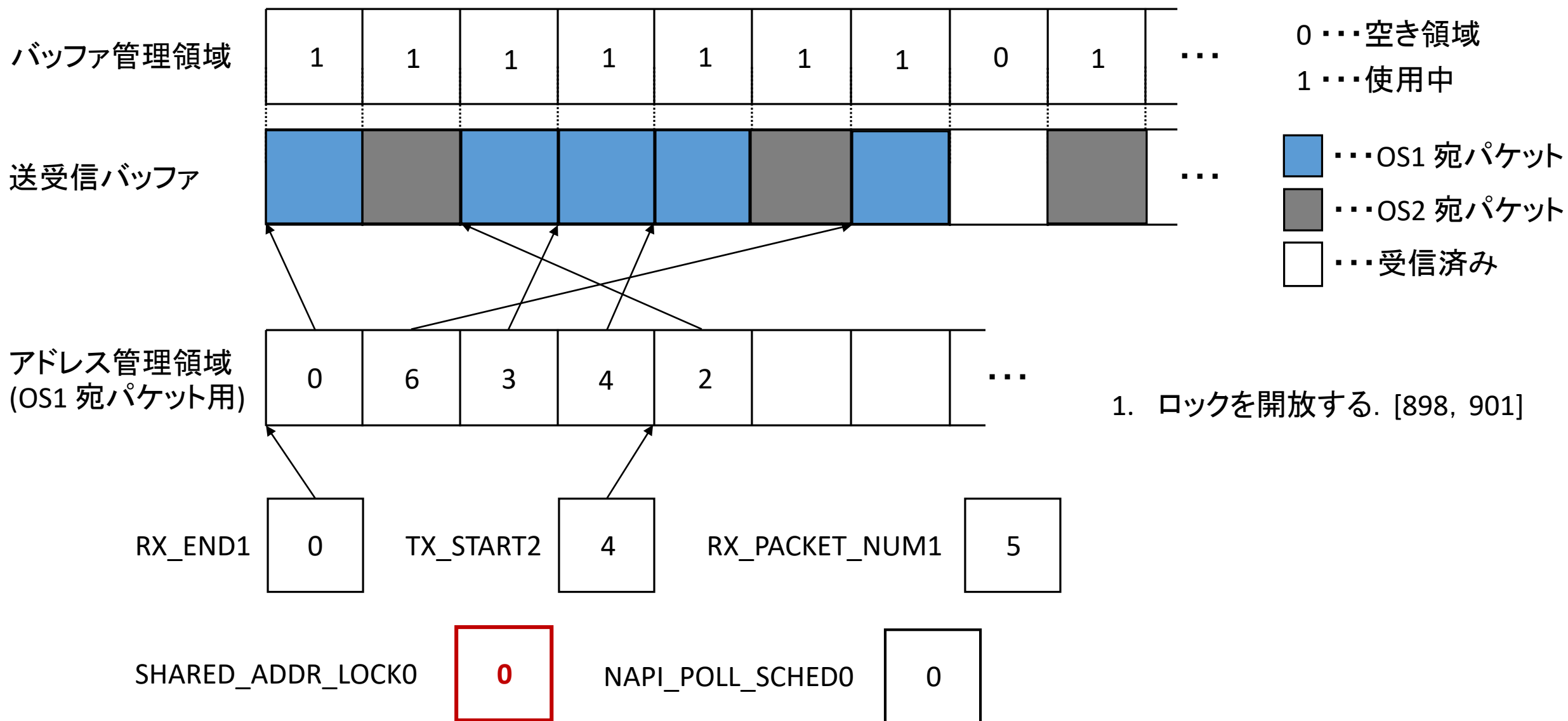
OS2からOS1宛のパケットを共有メモリに配置する様子(5/9)



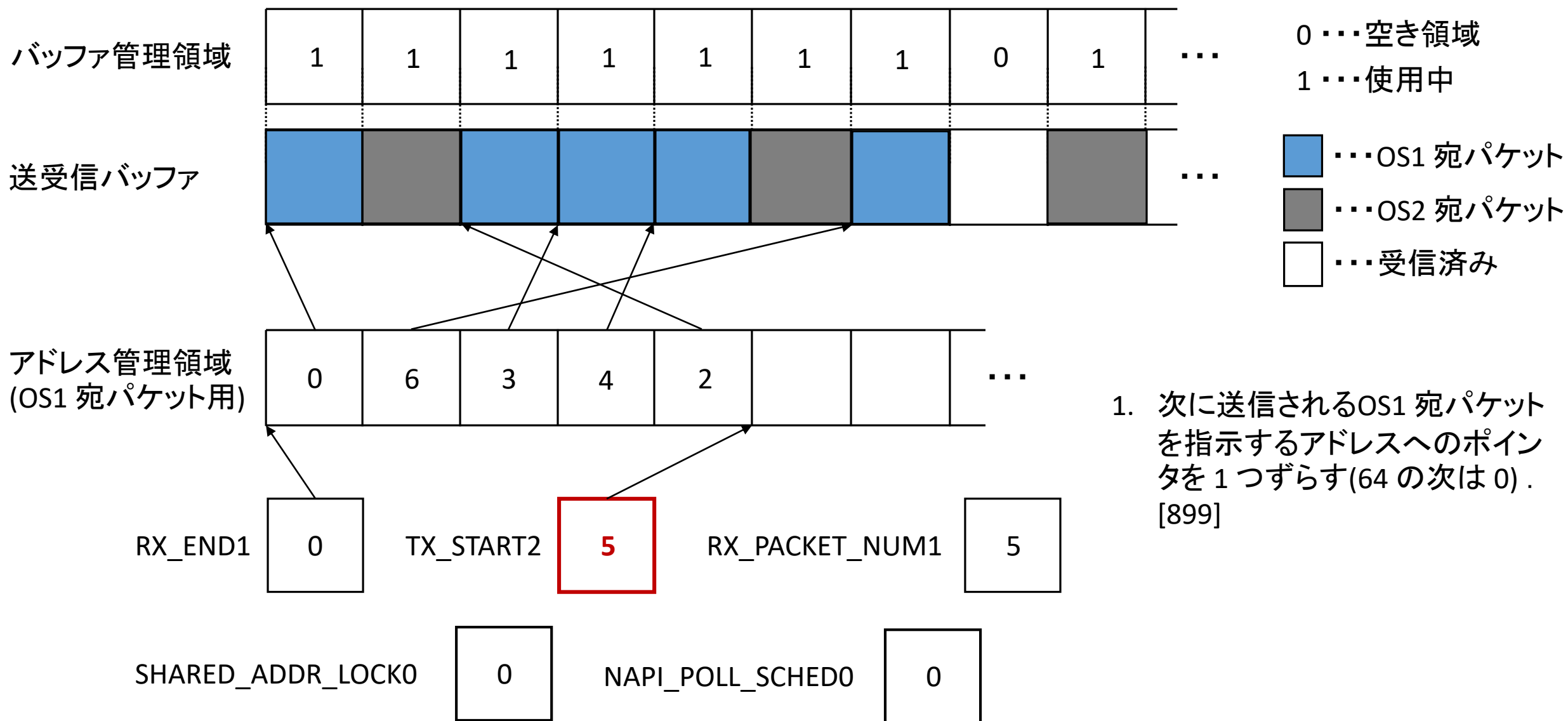
OS2からOS1宛のパケットを共有メモリに配置する様子(6/9)



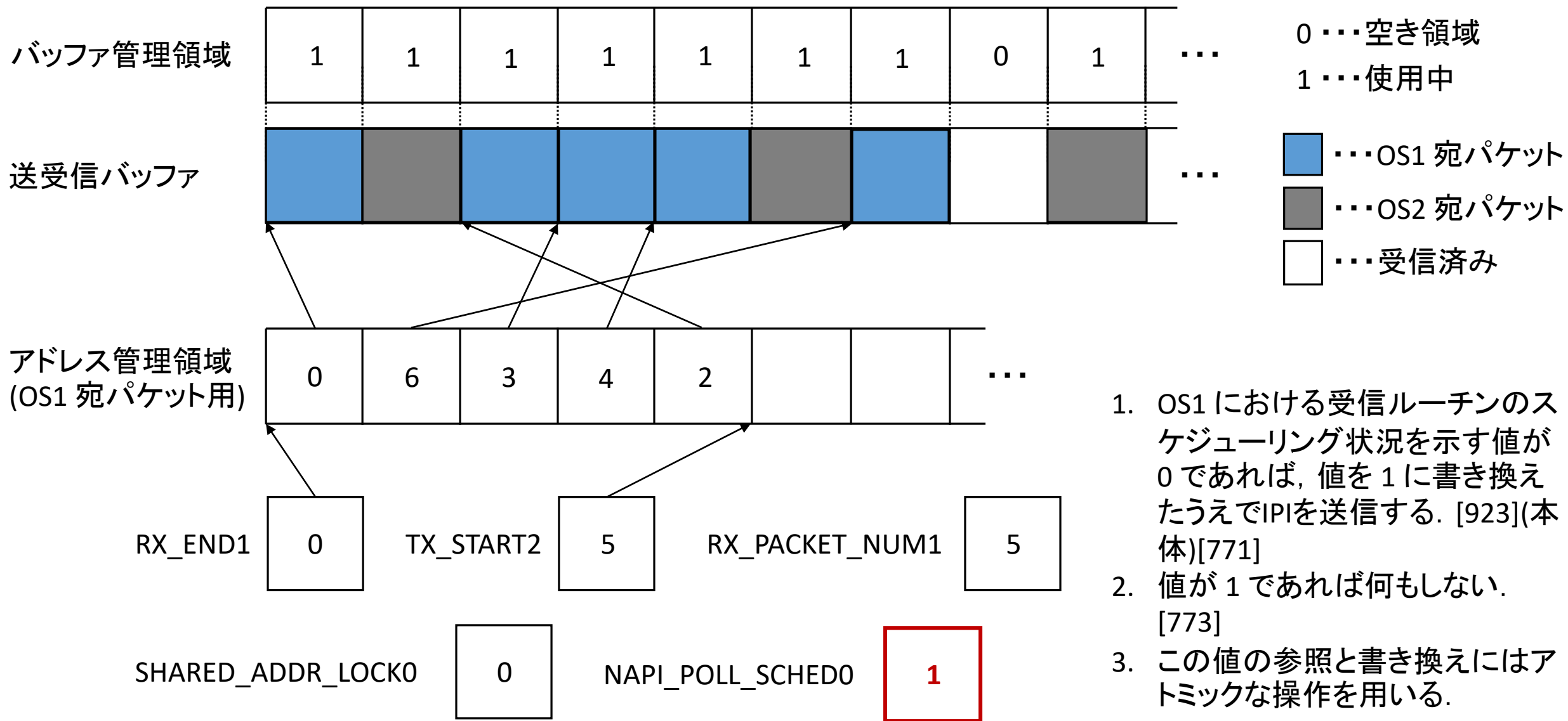
OS2からOS1宛のパケットを共有メモリに配置する様子(7/9)



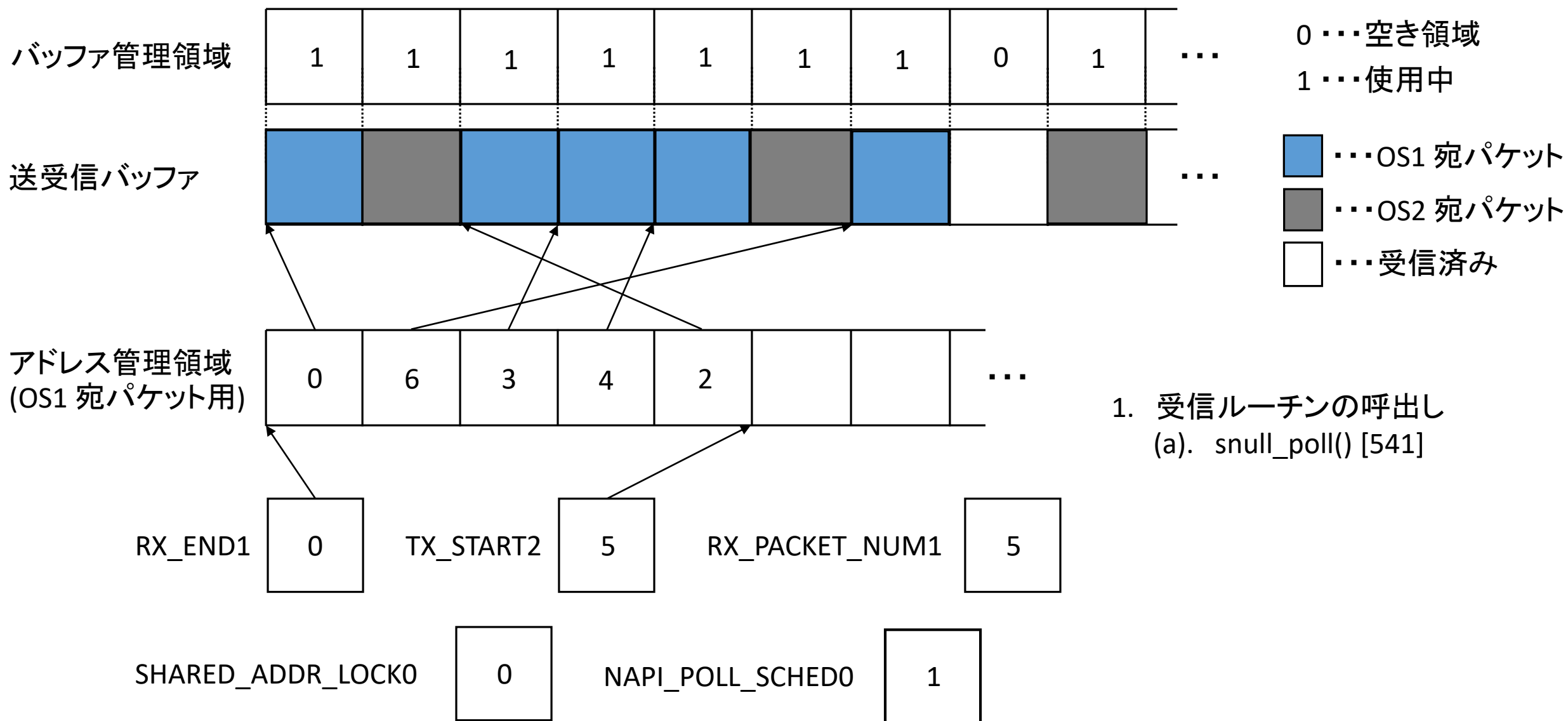
OS2からOS1宛のパケットを共有メモリに配置する様子(8/9)



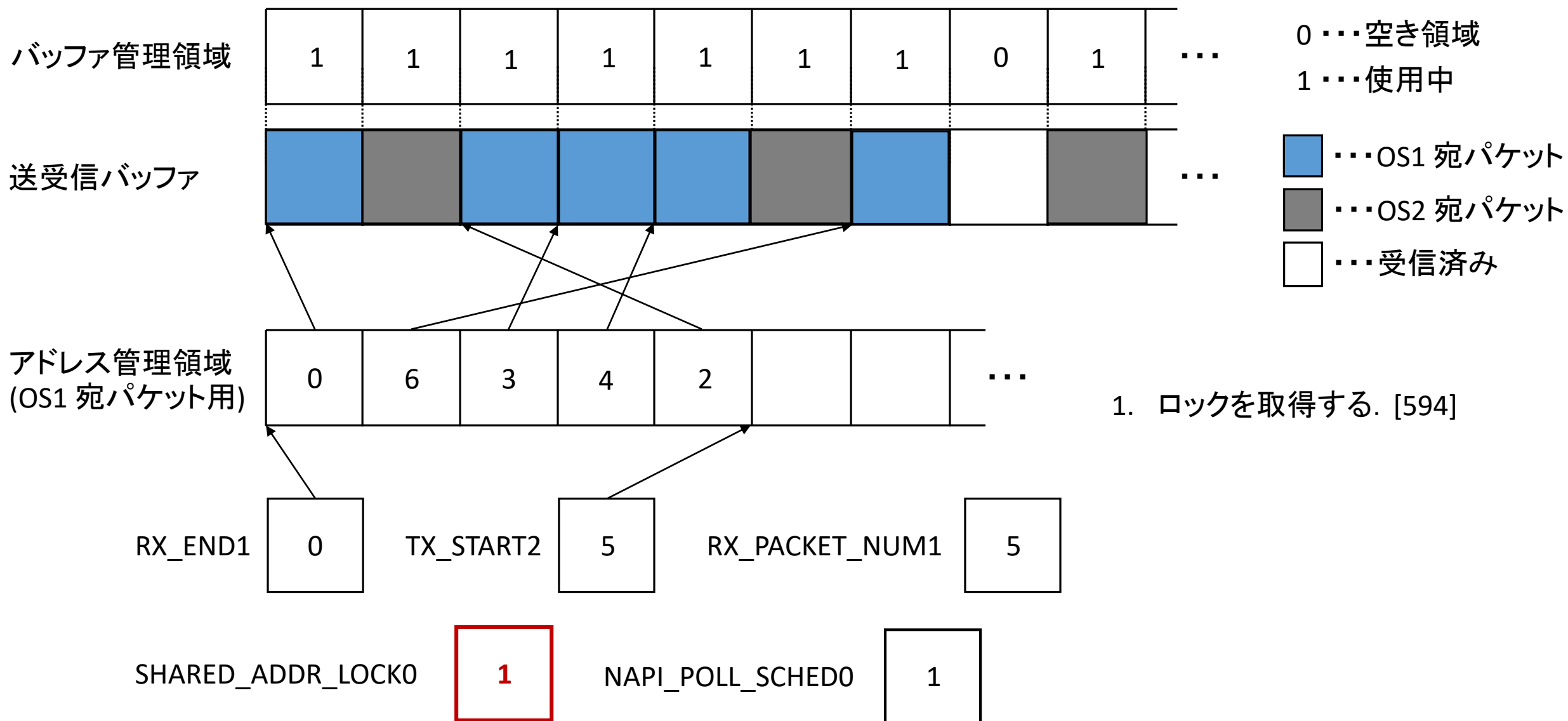
OS2からOS1宛のパケットを共有メモリに配置する様子(9/9)



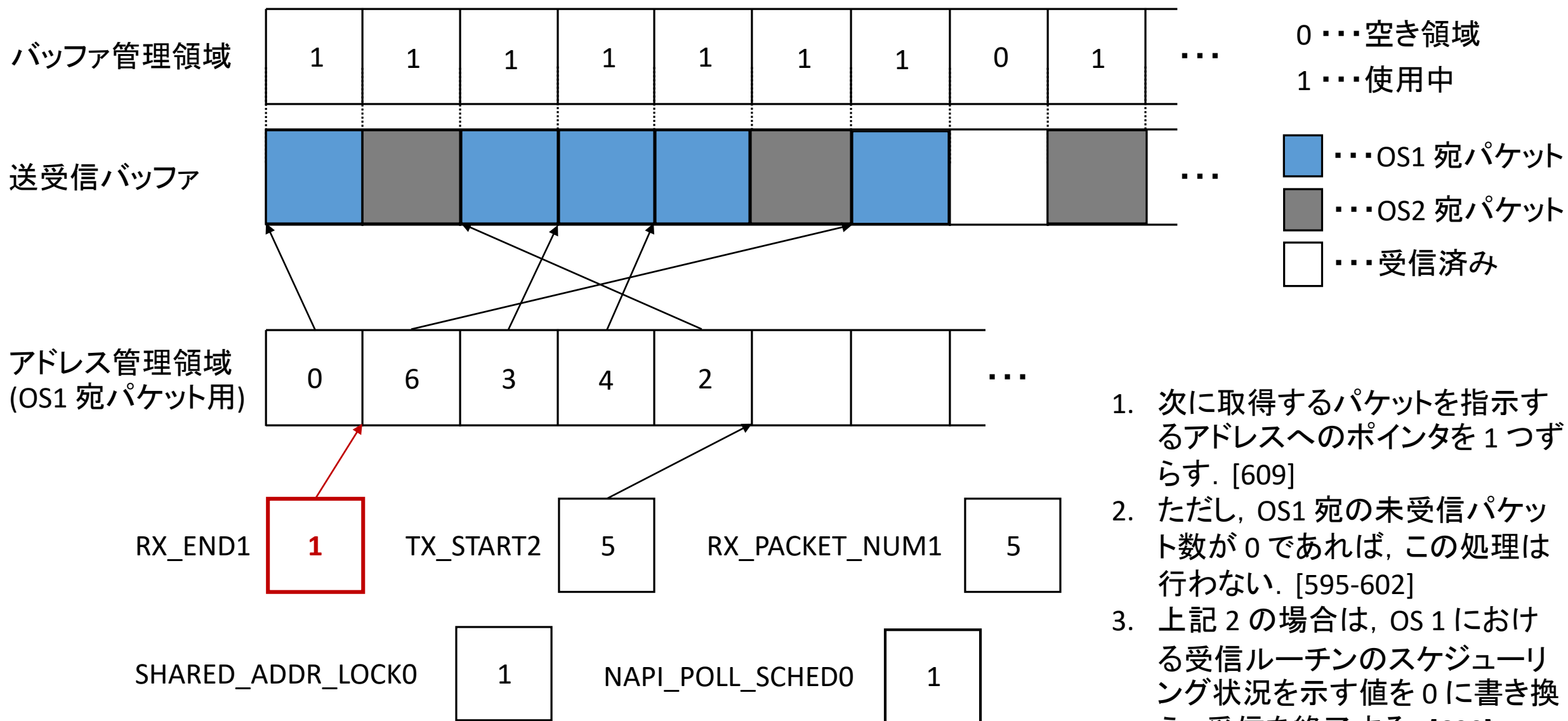
OS2からOS1宛のパケットを共有メモリから取得する様子(1/7)



OS2からOS1宛のパケットを共有メモリから取得する様子(2/7)

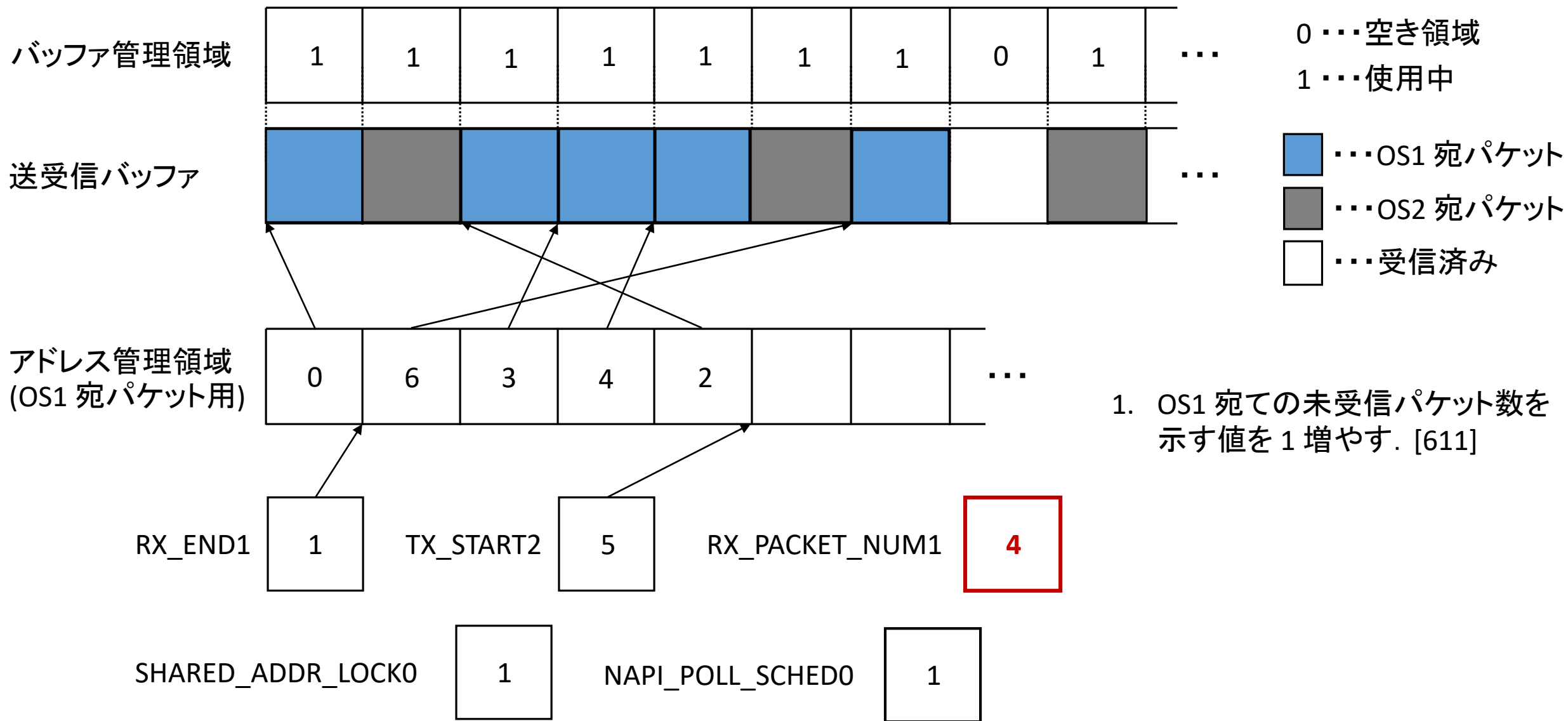


OS2からOS1宛のパケットを共有メモリから取得する様子(3/7)

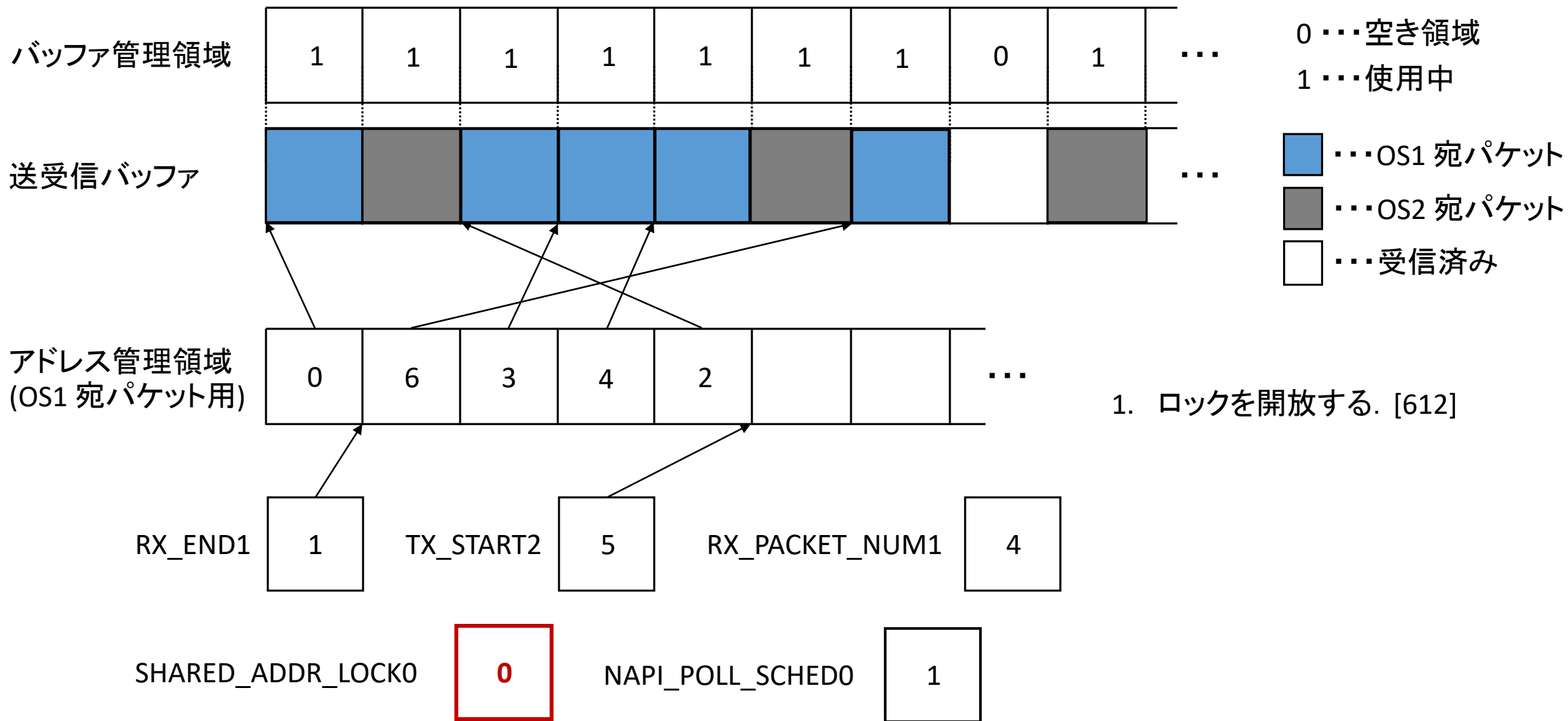


1. 次に取得するパケットを指示するアドレスへのポインタを1つずらす. [609]
2. ただし, OS1 宛の未受信パケット数が0であれば, この処理は行わない. [595-602]
3. 上記2の場合は, OS1における受信ルーチンのスケジューリング状況を示す値を0に書き換え, 受信を終了する. [600]

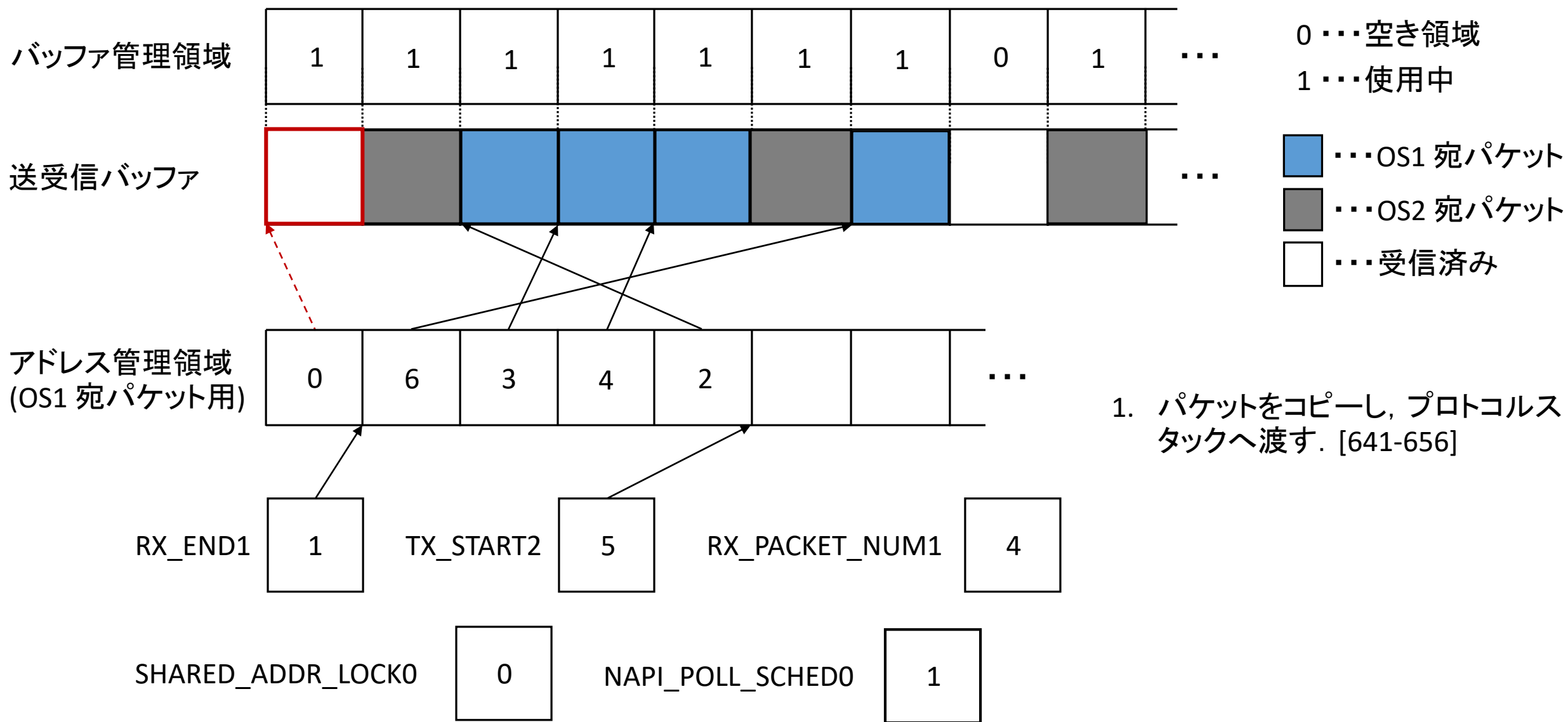
OS2からOS1宛のパケットを共有メモリから取得する様子(4/7)



OS2からOS1宛のパケットを共有メモリから取得する様子(5/7)



OS2からOS1宛のパケットを共有メモリから取得する様子(6/7)



OS2からOS1宛のパケットを共有メモリから取得する様子(7/7)

